

## 採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 海域生物工学の戦略的イノベーション創出

代表者名： 高井 陸雄

所属機関名： 東京海洋大学

### コメント

海洋の水産資源は確実に減少傾向を示しており、食料としての魚類養殖法確立は極めて重要な研究テーマであり、地球規模での食糧問題解決の観点からも社会的に重要な課題であると考えられる。本構想は食料資源確保への科学的アプローチである。海域生物資源の人工生産システムに関わるもので、類似のものが無いユニークさは評価に値する。応用の可能性を目指したものとして明確なビジョンを持っており、水産と工学との融合の必要性も理解できる。協働機関も含め研究体制も適当である。しかし、拠点化へのロードマップ作りは不十分であり、3、7、10年後の達成目標を明確にした計画を策定の上で、進めていただきたい。本提案のコア技術である種苗生産システム、陸上養殖システム、非囲い込み沖合養殖システムについて、早期に実現の可能性を検証するよう計画していただきたい。これらの魚類養殖の技術革新は意義があるが、養殖における物質循環の解明等、環境問題の課題も考慮すべきであり、海洋を利用することに伴う法制度上の観点等も考慮して取り組むことが必要である。